



# 第6期宮前区区民会議 第4回地域活性部会（仮称）

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成28年12月2日（金）18:00

宮前区役所4階第1会議室

## 次 第

---

### 1 議事

- (1) こまじいのうち視察まとめ
- (2) 前回の振り返り
- (3) 審議テーマの決定に向けて

### 2 その他の連絡事項

今後の日程について

第4回企画部会 12月22日（木）18時 会場：第1会議室

第4回全体会 平成29年1月13日（金）18時 会場：市民館4階 第4会議室

## 配布資料目次

---

資料1 委員名簿

資料2 第6期スケジュール案

資料3 こまじいのうち視察メモ

# 第6期宮前区区民会議 委員名簿

資料1

氏名	新任／再任	役職	所属部会	分野・団体名
カワダ カズコ 川田 和子	再	委員長		①防災・地域交通 宮前区自主防災組織連絡協議会
アオヤギ カズミ 青柳 和美	再	副委員長	地域福祉部会	区長推薦
オイカド トシコ 老門 聰子	新			③子育て・教育 宮前区こども・子育てネットワーク会議
ナカザト フミオ 中里 文雄	再	部会長		③子育て・教育 宮前区民生委員・児童委員協議会
ツバキ マサミ 樺 雅美	新			③子育て・教育 宮前区地域教育会議
スナガワ テツオ 砂川 徹夫	新			⑤産業・まちの活力 宮前区商店街連合会
ナカムラ フサヨ 中村 布佐子	新			⑥文化・観光 宮前区文化協会
タキモト クミ 滝本 久美	再			⑧地域特性 みやまえ情報ラボ
オオクボ マサカツ 大久保 正克	新			公募
カサイ イクコ 葛西 育子	再			区長推薦
オダ イクコ 小田 育子	再			区長推薦
カゲヤマ イシロウ 影山 亥史郎	新	副委員長	地域活性部会	④自然・生活環境 グリーンフォーラム21みやまえ世話人会
オイカド タイソウ 老門 泰三	新			②福祉・健康 社会福祉法人宮前区社会福祉協議会
オオキ ジロウ 大木 次郎	再			②福祉・健康 宮前区スポーツ推進委員会
ヤマダ カツラ 山田 桂	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（宮前地区）
クロサワ カツミ 黒澤 克實	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（向丘地区）
タナベ ヨウイチロウ 田辺 洋一郎	再			⑧地域特性 宮前区まちづくり協議会
ヤマベ キヨミ 山部 清美	新			公募
アラカワ ヨウコ 荒川 洋子	新			公募
サトウ タカフサ 佐藤 貴房	新	部会長		公募

# 第6期宮前区区民会議の進行イメージ

資料 2

年度	月	進行の目安	全体会・部会等の開催	備考
28	4		4/20 事前打ち合わせ会	
	5	地域課題の検討 テーマ分野・分類の絞り込み	5/20 第1回全体会	委嘱状交付 各委員から課題発表
	6		6/13 第1回準備部会	委員からテーマ出し
	7		7/14 第2回準備部会	専門部会構成案作成
	8	専門部会発足 (仮称)で始動 各テーマの現状調査、目指すべき姿、理想像の確認	8/4 第2回全体会	専門部会立上げ
	8		8/29 地域福祉部会① 8/30 地域活性部会①	部会テーマの更なる絞り込み
	9		9/16 地域福祉部会② 9/9 地域活性部会②	
	9		9/30 企画部会(1)	
	10	解決すべき課題の洗い出し、先進事例のサーチなど	10/6 第3回全体会	
	10		10/24 地域福祉部会③ 10/27 地域活性部会③	
	11		11/28 地域福祉部会④ 12/2 地域活性部会④	先進事例・現地視察等
	12		12/22 企画部会(2)	
1	フォーラムの企画・準備など	1/13 第4回全体会		
2		2/1 地域福祉部会⑤ 2/3 地域活性部会⑤	2/6 区民会議交流会	
		2/24 企画部会(3)		
	3	3月中旬頃 区民会議フォーラム		
29	4	課題解決に資する取組提案の検討	地域福祉部会⑥ 地域活性部会⑥	
	4		地域福祉部会⑦ 地域活性部会⑦	
	5		企画部会(4)	
	6		第5回全体会	
	7	地域福祉部会⑧ 地域活性部会⑧		
	8	地域福祉部会⑨ 地域活性部会⑨		
	8	取組提案の試行と検証など	企画部会(5)	
	9		第6回全体会	
	10		地域福祉部会⑩ 地域活性部会⑩	
	11		企画部会(6)	
	12		第7回全体会	
	12		区長への提案	
1	第6期の総括	企画部会(7)		
2	フォーラムの企画・準備	第8回全体会		
2		企画部会(8)		
3		区民会議フォーラム		

## 「こまじいのうち」視察

日時：平成 28 年 11 月 17 日（木）10:00

視察メンバー：佐藤部会長、川田委員長、影山副委員長、荒川委員、老門（泰）委員、大木委員、黒澤委員、山部委員

秋元康雄さん（マスター）、浦田さん、藤本さん（文京区社会福祉協議会 駒込地区地域福祉コーディネーター）、船崎さん（こまじいのうちスタッフ）から話をうかがった。

### 【きっかけ】

マンションの増加等で新しい住民が増えるとともに、地域のコミュニケーションが希薄に→駒込地区町会の中で、地域のつながりを取り戻すために、誰もが来られる居場所が必要とされ、秋元さん所有の空き家に目を付けた。

※駒込地区に自治会館が無く、集まる場所が無かったことが大きかった。

### 【立ち上げの経過】

平成 24 年度～：駒込地区に第 1 号の地域福祉コーディネーターが配置される

平成 25 年 3 月：地域活動センター所長と地域福祉コーディネーターで空き家活用の検討を重ね、方向性を決めた。

- ・駒込地区町会連合会の主催
- ・対象は独居高齢者、子育て世代、青少年
- ・町会からの分担金の協力
- ・都の「地域の底力再生事業助成金」の活用
- ・プログラムやソフト面は地域福祉コーディネーターが担当

平成 25 年 4～5 月：地域福祉コーディネーターの声掛けで地域活動をしている人に協力依頼。

平成 25 年 5 月：約 40 人が集まり第 1 回「駒込地区町会連合会居場所づくり実行委員会」開催。趣旨説明、名称決定、組織体制検討、開催回数や時間の想定 etc. について検討。全 5 回の実行委員会で、「誰でも気軽に立ち寄れる場所」というコンセプトが固まる。

平成 25 年 8 月：プログラムの最終調整。「カフェこま」「ゆる育カフェ」「囲碁・麻雀」「食育・ほっとサロン（現・こまじいキッチン）」等が決まる

平成 25 年 10 月：3 回のプレ開催を経て、10 月 1 日オープン。

### 【プログラムについて】

- ・ 現在、プログラムの運営は各団体（ボランティア、NPO 団体）が仕切っている。
- ・ 特にプログラムが無い「カフェこま」はボランティアがシフト制で運営。
- ・ 町内会の全ての掲示板にプログラムのチラシを掲出している。

### 【組織運営について】

・ 創成期：地域福祉コーディネーター（社会福祉協議会）が事務局として中に入り、会計、ボランティア調整も含め中心的に活動

定着期：運営の核を担う「コアスタッフ」と呼ばれるボランティアやプログラム担当の NPO 団体等が事務局的な仕事を担当、地域福祉コーディネーターはサポート的立場に。

- ・ ボランティアの方が、「ゆるやかに」「負担感なく」参加できる雰囲気作り、運営が大事

### 【行政との関わり】

・ 地域活動センターが関わっている。行政が把握しきれない住民のことを社協がサポートしつなげる。

こまじいのうちに来る人で、困っている、問題を抱えていると思われる人がいれば、社協から専門機関につなげることもしている。

### 【運営経費】

- ・ 12 町会からの協賛金：年 1 万円×12
- ・ 都の「地域の底力再生事業助成金」：100 万円
- ・ 各プログラムの利用料：100～300 円
- ・ プログラムごとの各団体に助成される社会福祉協議会の「ふれあいいきいきサロン事業」の助成金
- ・ 参加費 3000 円のチャリティ麻雀を開催し、食材費に充てている。

※こまじいのうち運営にあたって発生する水道光熱費は上記の中からオーナーに支払っているが、固定資産税についてはオーナー自らが負担している。

### 【そして法人化へ…】

- ・ 都の「地域の底力再生事業助成金」に頼っている現状を打破したい→使用していないスペースをリノベーションして賃貸する、などの事業化の提案

・リノベーションの費用：300万円

→企業CSRの一環での寄付130万、私募債一口3万円、寄付一口5千円で達成

・1階は人の集まる空間を拡げ、2階はシェアオフィスとして収益源スペースとなった（未稼働）。月2万円で3社まで。

・法人格を取得し、「NPO法人居場所コム」設立。区内の居場所づくりを応援する事業を展開していく。

・現状は無償ボランティアだが、今後は「仕事」として人を置く必要性も検討していく。

### 【その他】

・文京区の人口・世帯数：213,868人、116,718世帯（宮前区：227,607人、96,348世帯）平成28年11月1日現在

・文京区の町会数：155町会→9つの地区に分かれている。こまじいのうちは駒込地区（12町会）

・他の地域でも、第2第3の「こまじいのうち」が広がっている。ex.さきちゃんち、もりばあのいえ、みちこはうす

・若いお母さんが大勢来るようになったのは想定外。散歩ついでに寄っていくことも多い。その分、高齢者が入りきれなくなるという課題が出てきたため、本来休館日の月曜日に「びぶ☆ベビー」を開催するようになった。

・Q.今後相続が発生した場合等のことは考えているか？（公共施設化など）

A.今はそういったことは話題になってはいない。秋元さん自身は、一代限りと考えている。

・固定資産税の減免があると良い。文京区に相談しており、検討してもらっている。

### 【所感・雑感等】

・立ち上げ、運営ともに、多くの主体が関わっており、そのつなぎ役、調整役として、社協の地域福祉コーディネーター（浦田さん）が大きな役割を果たしている

→地域福祉コーディネーターは現在でもほぼ毎日来ている。同じことが宮前区でできるか？

・運営においては、適度な「ゆるさ」が重要。視察で訪問した際も、プログラムでは12時から始まる予定の「こまじいキッチン」が、11時半ごろからすでに始まっていた。

・2階のシェアオフィス（未稼働）がどの程度の稼働率になるのか知りたかった。実際にはそこで収益を上げていかなければ「こまじいのうち」の活動費がまかなえないわけだが…